

[http://www](http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/)

地域連携推進センター ニュースレター 〈第64号〉

〒780-8073 高知県高知市朝倉本町2丁目17-47

TEL:088-844-8732 FAX:088-844-8556

<http://www.ckkc.kochi-u.ac.jp/>

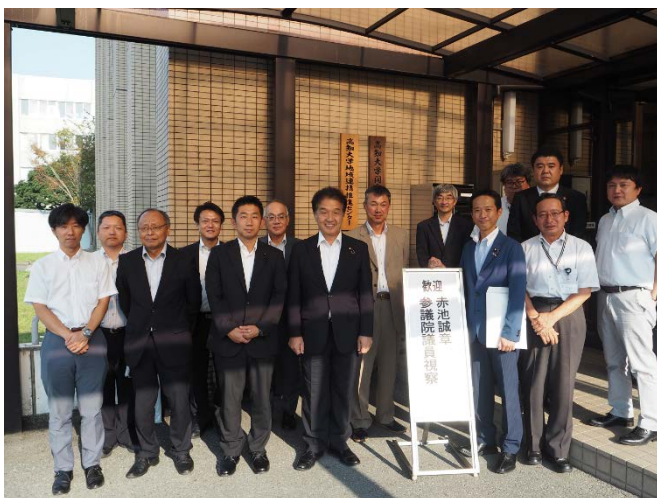
編集責任者: 吉用武史

はじめに

赤池誠章参議院議員、高野光二郎参議院議員、
濱田豪太県議会議員 高知大学ご訪問

9月9日(金)、参議院議員であり元文部科学政務官の赤池誠章議員が高知大学をご訪問されました。

脇口学長との懇談ののち、地域連携推進センターへお越しいただき、本学の地域連携や産学連携業務をご報告しました。産学連携事例については、本学との共同研究先である(株)大豊ゆとりファームの吉村社長、井上石灰工業(株)の平岡様からもご発表いただき、大学と地域および企業との連携について、多くの意見交換を致しました。



目次

p1 はじめに

p2 域学連携推進部門

Topic1. 第38回全国国立大学障害学習系センター研究協議会

Topic2. 「地(知)の拠点整備事業(COC)」
～平成28年度評価(書面・面接)～

p3 産学官民連携推進部門

Topic1. ココプラ第14回シーズ・研究内容紹介
農林海洋科学部 海洋資源科学科
海底資源環境学コース 上田忠治教授

Topic2. 土佐まるごと社中(TMS)
第22回定例会 in 嶺北のご案内

p4 知的財産部門

Topic1. 四国国立4大学 新技術説明会開催

p5 地方創生推進部門

Topic1. スイス・ツエルマツト視察報告

Topic2. 平成28年度学生の県内定着または雇用創出
に係る研究経費の採択事業一覧

Topic 1. 第38回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会

9月26日～27日、香川大学幸町キャンパスを会場に、全国国立大学生涯学習系センター研究協議会が開催されました。全国から23の大学、約60名が参画し、以下のテーマが議論されました。

主題：地域と協奏する大学 ～地方国立大学法人の地域貢献～

記念講演：香川 希少糖で描く健康未来社会

フォーラム：教育・学習を軸とした『大学と地域連携』

分科会 I：研究協議会の在り方を考える

II：域学連携の在り方を考える

III：共同研究への参画につなぐ

IV：政策動向を読み解く

平成28年5月30日に中央教育審議会から「個人の能力と可能性を開花させ、全員参加による課題解決社会を実現するための教育の多様化と質保証の在り方について(答申)」が発表され、これを資料として各大学における生涯教育や専門職業人養成の現状と課題について意見交換されました。



(参考)文部科学省 HP:

http://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chukyo/chukyo0/toushin/1371833.htm

Topic 2. 「地(知)の拠点整備事業(COC)」 ～平成28年度評価(書面・面接)～

文部科学省事業である「地(知)の拠点整備事業(COC)」の平成28年度評価のため、7月に進捗状況報告書を提出し、9月28日(水)に面接評価が弘済会館(東京都千代田区)にて実施されました。本学はCOC事業として平成25年度から「高知大学インサイド・コミュニティ・システム化事業(KICS)」を実施しています。

面接評価においては、高知大学から櫻井理事(総務・国際・地域担当)、吉用部門長、赤池地域コーディネーター、芝地域連携課長が出席し、連携自治体である高知県から高知市地域の地域産業振興監である山脇様に同席いただきました。

評価結果は近く公表され、今後の事業運営にも反映されることとなります。評価結果も参考にしながら、KICSの事業運営を適切に実行し高知県の発展のために貢献してまいります。

Topic 1. ココプラ第 14 回シーズ・研究内容紹介 農林海洋科学部 海洋資源科学科 海底資源環境学コース 上田 忠治 教授

高知県産学官民連携センター(通称ココプラ)による第14回シーズ・研究内容紹介が平成28年9月7日(水)18時30分より開催されました。

今回は、高知大学農林海洋科学部海底資源環境学コースの上田忠治教授から「機能性高分子錯体の産業利用ーセンサー, 触媒, 材料としてー」と題して研究をご紹介いただきました。

上田教授の研究は、巨大な陰イオンの金属酸化物クラスターである“ポリオキソメタレート錯体”の合成です。ポリオキソメタレート錯体は、その生成反応機構や酸化還元反応メカニズム等、不明瞭な部分が多く残されていますが、高い酸触媒あるいは酸化触媒活性を示すこと、また、腐食性がなく副反応が起こりにくいこと、など特徴的な性質を有しています。

これまでのポリオキソメタレート錯体に関する上田教授の研究において、新しい反応の触媒や新たなセンサー開発の可能性が見出されています。今回の発表では、本研究を活用したバイオマス変換用触媒、バッテリー材料、食品検査、医療診断等、様々な産業分野への用途展開の可能性についてもご紹介いただきました。

ココプラ シーズ・研究内容紹介は、高知県立大学永国寺キャンパスのココプラ交流スペースにて、第2水曜日を除く毎週水曜日の18時30分より、高知県内高等教育機関の持ち回りで開催されています。



Topic 2. 土佐まるごと社中(TMS) 第 22 回定例会 in 嶺北のご案内

産学官民連携のプラットフォームである土佐まるごと社中(TMS)定例会を、今回初めて嶺北地区で開催いたします。

産学官民連携に取り組む同じ思いを持った同志が一堂に会し、業種や分野、所属や肩書き、年齢、性別、国・地域を越えて、ひとりの人間としてフラットな関係で、双方向のコミュニケーションを深めることにより、さらにも一層、知の創造やイノベーション創出に結びつける機会となるものと期待して開催します。ご関心のある方のお越しをお待ちしています。個人の参加も歓迎します。

開催日時:平成 28 年 10 月 15 日(土)

14:00~17:30(第 22 回定例会)

18:00~20:00(交流会)

定例会会場:本山町プラチナセンターふれあいホール 1

<http://www.town.motoyama.kochi.jp/life/dtl.php?hdnKey=29>

交流会会場:もとやま四季菜館

(高知県長岡郡本山町本山 582-2)

定例会参加費:無料

交流会参加費:5,000 円

主催:土佐まるごと社中(TMS)

共催(予定):本山町、高知県産学官民連携センター、
高知大学地域連携推進センター



(第21回定例会プレゼン風景)

Topic 1. 四国国立4大学 新技術説明会開催

9月29日(木)、JST東京本部別館ホール(東京・市ヶ谷)において、「四国国立4大学 新技術説明会」が開催され、材料、デバイス・装置、計測、創薬の4分野5プログラムの発表が行われました。

高知大学からは、教育研究部自然科学系理学部門 高田 直樹 准教授がプログラム名「電子ホログラフィによる高速・高精細な3D動画像再生及びプロジェクション技術」について発表を行いました。今回発表した技術は、膨大なホログラフィのデータ量の取扱いに関するものです。ホログラフィは、三次元像の記録・再生技術であり、今後、電子化によって「究極の3Dテレビ」になると期待されています。

発表には約60人の視聴者があり、発表後の名刺交換および個別面談にも、多くの企業からのアプローチがありました。今後の共同研究や技術移転への進展が期待されます。



Topic 1. スイス・ツェルマツ視察報告

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」の雇用創出プログラムの1つである観光人材育成事業の一環で、9月17日(土)～22日(木)に、観光地域づくりの先進地である人口6,000人の町スイス・ツェルマツを視察しました。

参加者は受田センター長、岡村地域コーディネーター、川竹COC+コーディネーター補佐の3名。現地では、観光カリスマであり日本各地での観光人材育成の取組にアドバイスをされている山田桂一郎氏の案内で、ツェルマツ観光局、ブルガーゲマインデ(地域住民による地域経営組織)、小・中学校を訪問しました。

スイス最南端のマッターホルン山麓にあるツェルマツでは、観光局とブルガーゲマインデが専門家を配属してマーケティングを丁寧に実施し、地域住民と議論しながらビジョン・戦略を明確にして魅力の磨き上げをすることで、物価も高く交通アクセスも不便な中、年間200万泊の宿泊客が訪れるという成果を出しています。

現地での意見交換では、地域の学校で地域のことを知る教育を行っていること、働きながら学習しやすい環境を作っていること、食と観光と経済を一体的に推進する重要さなどを学びました。

今後は、事業協働機関の関係者が集まり定期的に開催している観光人材育成事業検討会で視察内容を共有したうえで、観光人材育成プログラムの構築に活かしていきます。



ブルガーゲマインデでのヒアリング



観光客でにぎわうツェルマツ

Topic 2. 平成28年度学生の県内定着または雇用創出に係る研究経費の採択事業一覧

「まち・ひと・しごと創生 高知イノベーションシステム」では、高知県の企業等(企業、自治体、NPO、学校、病院等)の活性化を促すなど雇用の拡大や地域での起業に結びつく研究又は地域への就職率向上に寄与する研究を公募しておりましたが、このたび以下のとおり5件が採択されましたのでお知らせします。

- ・「生活史を基調に安田町集落活動センターを魚梁瀬森林鉄道保存・活用の拠点として整備し中芸5ヶ町村の観光雇用を創出・拡大するための研究」
- ・「地域課題に即した看護ケアをinnovationできる看護師の育成・輩出を目指した看護師育成プログラムの開発」
- ・「地域中小企業への就業率向上に向けたプログラム開発と仕組みづくり」
- ・「土佐あかうしの増頭・高付加価値化を可能にする繁殖雌牛の高度利用に関する研究」
- ・「醸造技術の向上は、農作物の生産拡充と高付加価値化を促進し、人材育成による高知県及び四国の活力向上を実現する！」